

# 真滝地区道路改良工事 第6号工事広報

当地域の真滝バイパス工事を施工しております“株式会社 小田島組”です。  
 まだ朝晩寒いですが、日中は雪解けの水が日に日に輝きを増していくのが心強く思われます・・!(^ ^)!  
 さて、工事もいよいよ大詰にさしかかり、皆様が心待ちにしておられるバイパスの開通めざし、舗装業者さんともがんばっております。現在の状況といたしましては真滝橋前後の構造物(写真①)と道路脇のL型側溝(写真②)を施工中で、弊社の進捗率といたしまして全体の95%を終了しております。  
 ◎工期まで残り1か月となりましたが、今後も安全には十分配慮して作業の方を進めて参りますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。(^-)/~~~~  
 ※今回はこの広報と一緒に「私たちが行いました工事の対応」などに関するアンケートをお配りいたしますので、なにとぞご協力お願いいたします。(#^#)

## 工事状況のご報告写真

真滝橋前後の踏掛版(写真①)



L型側溝の打設作業(写真②)



工業団地に通じる市道工事



### 特集・私たちの滝神社を知ろう

#### 滝神社の歴史

延暦10年(AD791)坂上田村麻呂東夷征伐の折、磐井郡司安倍黒人が田村麻呂に従い追討のため荒滝に来て賊を討ち、住民を安んじた。この時白山大神を桂峯に熊野大神を延寿原に奉祀した。寛治2年(AD1088)熊野大神を桂峯に奉遷して熊野・白山二神を合祀した。また大同年間(AD806-810)田村麻呂賊徒の強暴を鎮めんと祓戸大神を鎮座して神威を仰ぎ滝神社を奉安し、後この三神を合せて一村の鎮守としたとのことです。そこで、なぜか今回は難しい問題にチャレンジ!

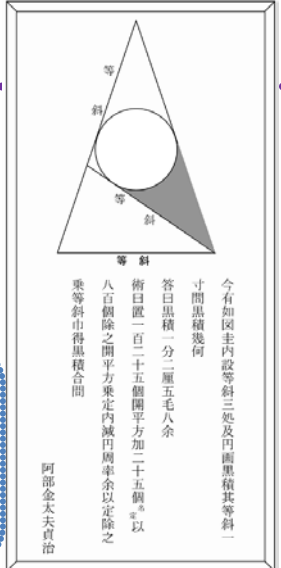


文久元(1861)年に熊野白山滝神社に奉納された算額\*の問題です。

この問題 解いてみよ〜!

#### 問題

今、図のように二等辺三角形内に、内接円と3つの等辺(等斜)を作り、黒積を画く。その等辺の長さが1寸のとき、黒い部分(黒積)の面積を求めよ。



\*算額は、和算において、数学の問題が解けたことを神仏に感謝し、ますます勉学に励むことを祈念して奉納されたとされる。やがて、人びとの集まる神社仏閣を数学の問題の発表の場として、難問や、問題だけを書いて解答を付けずに奉納するものも現れ、それを見て解答や想定される問題を再び算額にして奉納することも行われた。このような算額奉納の習慣は世界中をみても他に類例がなく、日本独特の文化といわれる。数学をも「芸」とらえる日本人の思考法がよくあらわれており、その一部は重要文化財や民俗文化財に指定されている。明治時代になると、日本には西洋式数学が導入されることとなったが、算額奉納の風習は、この導入を容易にしたとも評価されている。

答えは一関博物館に行  
 ってみてきてね ♡

昔の人たちはすごいですね〜  
 僕には何の事だか・・▽O♪∴∞

現場責任者



高橋 哲浩(てつひろ)

技術員



及川裕明(ひろあき)



伊藤 駿(しゅん)

工事を進めるにあたり、お気づきの点がございましたら、下記連絡先にご連絡いただければ早急に対応させていただきますので宜しくお願いいたします。

現場事務所 0191-48-3144 (FAX 兼用)  
 (株)小田島組 0197-72-2176 (本 社)

現場責任者 **090-9636-0746 (高橋 哲浩)**

技術員 090-5597-6648 (及川 裕明)

技術員 080-1859-5083 (伊藤 駿)

たかはしてつひろ

おいかわひろあき

いとう しゅん